

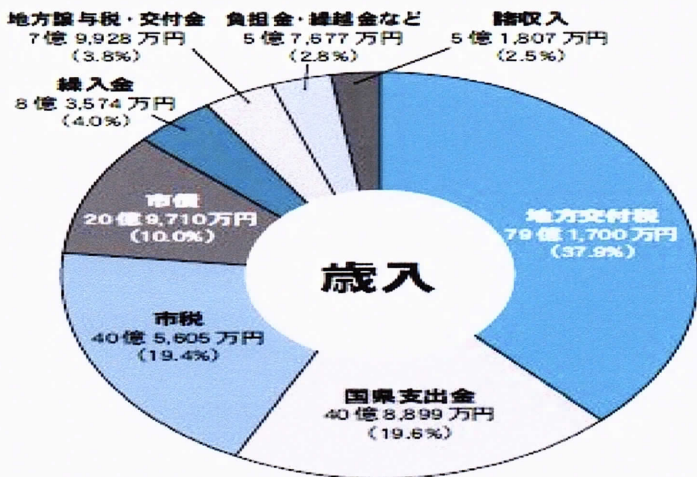
国から生活保護費（地方交付税）をもらって年収（税収）の5倍の生活をしている阿賀野市の財政事情（前編）

- 下の図は「広報あがの」4月号に掲載された平成27年度一般会計当初予算である。一般会計予算は福祉など様々な市民サービスを提供するために組まれる予算だ。総額208億円の財源内訳（歳入予算）をみると、一番金額が大きいのが「地方交付税」の79億1700万円（構成比37.9%）だ。2番目に大きいのが「国県支出金」（国県からの補助金）の40億8899万円（同19.8%）だ。3番目が「市税」で40億5605万円（同19.4%）。4番目が市債（借金）で20億9710万円（同10.0%）。
- 地方交付税・国県支出金・市債は「依存財源」と呼ばれ、地方交付税や国県支出金は国から支給されるお金だ。特に地方交付税は、税収不足により必要な行政経費（市民サービス）が賄えない自治体（都道府県・市町村）に国から交付される使い道が自由なお金だ。地方交付税の原資は国税5税（所得税・酒税・法人税・消費税・たばこ税）で、国の特別会計（財布）で管理されている。下の図では「地方交付税」や「国県支出金」が家計簿の収入欄の「給与」に分類されているが、これは間違いだ。正しくは国から支給される「生活保護費」だ。
- 市税は「自主財源」と呼ばれ、働いている市民や事業活動を行っている市内の企業、資産を所有する市民・企業が負担するお金だ。他に「繰入金」や「負担金・繰越金など」などの自主財源を加えても予算総額の3割もいかない。

一般会計 当初予算

208 億 8,900 万円

(前年度比 △ 5.6%)



市の予算を1か月分の家計簿にしてみると...



市の一般会計予算を年収400万円の家庭に置き換えて、家計簿を作ってみました。首都圏では景気上向きといわれていますが、地域経済はまだまだ好転せず、給料も前

年度並みです。子どもへの仕送り(病院事業へ)が減った反面、新たな改修(水原公民館、水原総合体育館など)への費用も必要で、計画的な支出が求められています。

◆収入

家庭	市	金額 (円)
給与	基本給	191,000
	諸手当	78,000
パート収入ほか	分担金・負担金、使用料・手数料など	13,800
預貯金利息	財産収入	500
預貯金の取り崩し	繰入金	13,300
前年度の残金	繰越金	3,200
銀行からの借り入れ	市債	33,500
合計		333,300

◆支出

家庭	市	金額 (円)
食費	人件費	58,800
医療費、教育費	扶助費	59,200
光熱水費、消耗品費	物件費	39,900
車の修理費など	維持補修費	3,300
家の改修、車の購入費など	普通建設事業費	37,200
自治会費、サークル活動費など	補助費等	21,300
子どもへの仕送り	繰出金	69,900
預貯金の積み立て、株式購入	積立金、投資・出資金等	6,400
借り入れの返済	公債費	49,500
合計		333,300

市政かわら版(図説)

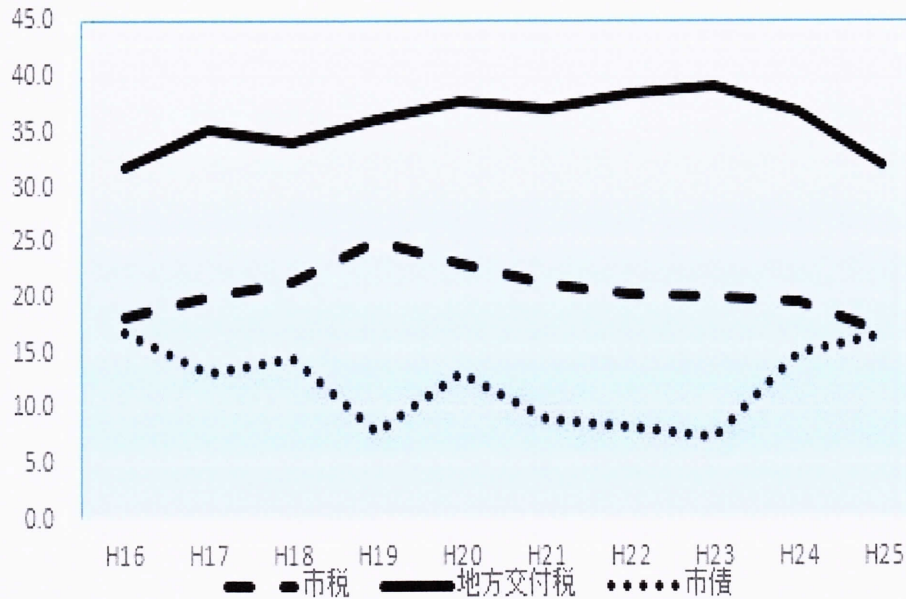
第8号

発行者 地域政党日本新生 代表 天野 市栄
 事務所 阿賀野市中島町一番四号 ユーチビル二階
 連絡先 ☎ (Fax) 0250-62-0640

地方交付税額の計算上、旧 4 か町村がまだ存続している！

- ・下のグラフは、自主財源である「市税」と依存財源である「地方交付税」「市債」について、一般会計（決算総額）に占める割合（構成比）を合併後の 10 年間（H16～H25）の推移で示した。一番上の線が地方交付税、真ん中が市税、一番下が市債である。
- ・地方交付税の割合は 30%～40%の間、市税は 15%～25%の間、市債は変動幅が大きいが 7%～16%の間で推移している。
- ・現在、地方交付税は 25 億円ほど多めに交付されている。合併した自治体に対する国のご褒美（特例措置）だ。合併前の旧 4 か町村が今も存続している、という前提で交付税が計算されているからだ。合併後 11 年目から 5 年間かけて縮小される（約 25 億円の減額）。

一般会計（決算）総額でみた構成比の推移（H16～H25）



田中市政（H24～）になってから市債の比率が急上昇！

予算総額に占める市税・地方交付税・依存財源（比率）で見る阿賀野市の県内 20 市ランキング

- ・市税・地方交付税・依存財源とも 17 位で下位クラス。
- ・阿賀野市よりも下位の 3 市は、県都（新潟市）から遠く離れた中山間地域や離島にあるなど、住民生活や企業の事業活動に不便な土地柄（地理的な条件不利地）だ。
- ・一方、阿賀野市は新潟市（政令市）に隣接した平場地域にある。住民生活や企業の事業活動に有利な土地柄でありながら、「地の利」が生かされず、結果として税収が少ない。なぜ???

図1: 予算総額に占める市税の割合 (%)

順位	県内20市	ベスト
1	新潟市	33.0
2	柏崎市	31.8
3	上越市	29.1
4	見附市	29.0
5	三条市	28.1
6	小千谷市	28.0
7	燕市	26.4
8	長岡市	24.5
9	胎内市	23.4
10	新発田市	23.1
11	妙高市	22.0
12	糸魚川	21.8
13	五泉市	21.3
14	南魚沼市	20.7
15	村上市	20.6
16	加茂市	20.5
17	阿賀野市	19.4
18	十日町市	15.3
19	魚沼市	13.6
20	佐渡市	11.4
		ワースト

図2: 予算総額に占める交付税の割合 (%)

順位	県内20市	ベスト
1	新潟市	11.2
2	柏崎市	15.7
3	小千谷市	17.4
4	長岡市	19.0
5	三条市	21.2
6	小千谷市	23.8
7	上越市	23.9
8	新発田市	25.5
9	見附市	25.8
10	五泉市	29.4
11	加茂市	29.4
12	胎内市	30.8
13	南魚沼市	30.9
14	糸魚川	31.1
15	妙高市	34.0
16	十日町市	36.0
17	阿賀野市	37.9
18	村上市	39.9
19	魚沼市	40.0
20	佐渡市	44.5
		ワースト

図3: 予算総額に占める依存財源の割合 (%)

順位	県内20市	ベスト
1	柏崎市	41.1
2	長岡市	50.9
3	小千谷市	51.7
4	新潟市	53.0
5	加茂市	53.4
6	三条市	55.6
7	上越市	55.6
8	糸魚川	59.0
9	見附市	59.1
10	燕市	60.5
11	南魚沼市	64.0
12	妙高市	65.3
13	新発田市	67.4
14	胎内市	67.5
15	村上市	69.5
16	五泉市	69.8
17	阿賀野市	71.0
18	魚沼市	71.7
19	十日町市	71.8
20	佐渡市	76.5
		ワースト